



Nurturing our Dreams

をつなぐ

大阪市立大学夢基金情報誌



No.1

大阪市立大学 [夢をつなぐ] 創刊号

平成29年1月発行

編集・発行：大阪市立大学サポーター支援室

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

TEL. 06-6605-3607



【対談】 夢と誇りを持って 社会へ

荒川哲男学長×工学研究科 坂本真宏さん(プロボクサー)

【インタビュー】 大阪市立大学理事 倉持治夫さん

【クラブ活動】 青桃会

【夢基金を活用したグローバル人材の養成】

- Global Villageの開設に協力
- 海外留学奨学金を活用した異文化交流

【基金だより】 寄附状況、事業報告、寄附者の声ほか



夢と誇りを持って社会へ

大阪市立大学 理事長兼学長 荒川 哲男

大阪市立大学大学院
工学研究科機械物理系専攻

坂本 真宏さん

新たな大阪市立大学の魅力を創出するために「笑顔あふれる知と健康のグローバル拠点」というスローガンを打ち出した荒川哲男理事長兼学長。今回は本学の大学院生でありながらプロボクサーとしても活躍する坂本真宏さんをゲストに迎え、2人に「夢をつなぐ」をテーマに対談していただきました。

——学長が目指すものは

荒川学長 とにかく大阪を元気にしたい。そのために本学の担う役割は大きいと思っています。「知」を結集させ、強い大阪を創る牽引力となれる大学を目指しています。「大阪」という地域(ローカル)に根ざしながら、世界(グローバル)につながる人を育て、ものを生み出す。そんな思いがあります。

きたと理解しています。そんな五代の理念が脈々と受け継がれている本学の学生であることを誇りに感じながら、夢を持って社会へ出てほしいですね。

——五代の理念に通じるものはありますか？

坂本 そうですね、もともと自分のために始めたボクシングですが、応援してくれる人がどんどん増え、試合に勝ったらみんなが自分のことのように喜んでくれます。そんな姿を見ると、よしっ、応援してくれる人のために戦うぞ！という気持ちが強くなってきました。

荒川学長 自分が誰かの役に立っていると実感できることが生き甲斐になりますね。ボクシ

ングも武道という「道」ですから、その道を歩みつつ成長できることも多いと思いますね。

文武両道は本学の精神でもあります。それを実践している坂本君は市大生に勇気を与えているはず。並大抵のことではないけど、不可能じゃないというところを見せてくれますからね。刺激を受ける学生がもっと増えるとうれしいですね。

坂本 自分のやっていることが他の人の励みになる。こんなにうれしいことはありません。

——学生とプロボクサー、二足のわらじは苦勞も多いのでは。

坂本 ええ。ボクシングは学生時代に始め、リーグ戦などに出ています。しばらくしてジムでプロと練習したり、プロの試合を見に行くうち、プロならではの華のある雰囲気魅せられました。いつかプロのリングに立ちたい、そんな思いがふつつ沸いてきました。

おまえはパンチ力があるから



さかもと まさひろ 1991年大阪府堺市生まれ。2010年、大阪市立大学工学部機械工学科入学。2014年、ボクシング・プロデビュー。2015年、大阪市立大学大学院工学研究科入学。2015年度全日本新人王を獲得。

プロ向きだ、とコーチらに勧められたことも、プロへ挑戦する気持ちを高めてくれました。平成26年12月にプロデビューした後、大学院へ進学を決めました。もともと技術者になって社会に貢献したいと思って工学部機械工学科へ入りました。技術者の道もあきらめなくなかったので、二足のわらじを履くことにしました。工学研究科機械物理系専攻で光触媒の研究をしており、いまは、修士論文の研究を進めていく段階です。

ボクサーとしての日課は朝走って、夜はジムワーク。時間

の制約はないので、日中は大学院へ通っています。両立は自分への挑戦。全力でどこまでできるのかを試している最中です。

——おふたりの信条は？

荒川学長 人は宝。人とのつながりは何ものにも代えがたいものです。信頼関係を築ける人のことを私は「サムライ」って呼んでいます。いかにたくさんサムライと豊かな人間関係を結ぶか、それが夢を実現できるかどうかの鍵だと思います。

好きな言葉に「人間万事塞翁が馬」があります。生きていると、いろいろつらいことが起こ

夢を実現するためにも多くの人との出会いを大切に——



る。しかし、下ばかり向いているとチャンスが上を通り過ぎてしまう。すぐに前向きな気持ちに切り替えられれば、次のチャンスをつかむこともできると信じています。坂本君はプロになって全勝だそうだけれど、負ける時だってあるはずですよ。坂本 もちろん。ボクシングはぶちのめされて負けるわけですから、その敗北感はずいぶんです。アマチュア時代に嫌というほど味わいました。何カ月も準備してきて、接戦で負けたりするとダメージは相当なものです。そんな苦さも味わったからこそ、「できる」と信じて前向きに努力していく。常にベストを尽くすっていうのが僕の信条ですね。自分の可能性を限定しないようにしたいんです。

——その夢が持てない、やりた
いことがわからないという学
生もいます。

荒川学長 若いうちは特にですが、とにかく多くの人に会ってほしい。本学の卒業生で社会に出て活躍している人はすごく多いんですよ。でも、学生はほとんど知らないでしょ。学生とOB、OGとの交流の場をつくりたいと考えています。先輩に出会い、どんどん話をする事で自分らしい夢を持つことにもつながるはずですから。坂本君が40代、50代になったときに、その生き方というか、経験を後輩に話してほしいですね。

坂本 これからの生き方がより大事になりますね。少しでも後輩に力を与えられるような存在になりたい。頑張ります。



あらかわ つお 医学博士。1975年、大阪市立大学医学部卒業。2000年、大阪市立大学医学部教授。2004年、大阪市立大学医学部附属病院副院長を経て2012年、大阪市立大学医学部長・大学院医学研究科長。2014年に全国医学部長病院長会議会長。2016年4月から大阪市立大学理事長兼学長。



若い人には好奇心と得意分野を持ってほしい

大阪市立大学理事 倉持 治夫さん

(大同生命保険株式会社顧問)

平成28年4月から母校である大阪市立大学の理事になった倉持治夫さんは、長年、大同生命保険株式会社の幹部として、経営手腕を発揮してこられました。大切にしてきたことを聞くとずばり、「人に関心を持つこと」。現在は同社顧問でもあり大阪商工会議所副会頭も務める倉持治夫さんにお話を伺いました。

と私の根底にあるのは好奇心と人好きですかね。相手がいま何を考えているのか、何を求めているのかを考えながら、常に人と向き合って仕事をしてきたつもりです。いやというほどアルコールも浴びましたけど(笑)。もちろん失敗も含めた多くの経験が血肉になっていっています。つまるところ、この世は人がつくっているわけですからね、いっぱい人に関心を持たないと、人生もビジネスも成功しないじゃないでしょうか。

◆いま、関心をお持ちなのは？

関心があるのは政治です。金融や税制も日本だけで考えるのではなく、世界的視野から見直してみる必要があると考えます。より複雑になっていく現代社会の方程式を解き、新しい立脚点を打ち出すべき時代に来ていると思います。グローバル

化って、結局、そういうことだと思えます。また、なかなか経済の勢いが伸びない中、分厚い中間層をどうやってつくっていくのかも重要です。生活と政治は密接に結びついていますから。もっと政治に対しての関心を持たないといけないと思いますよ。やはり、選挙の投票には必ず行かなくちゃダメですね。

◆後輩へのメッセージを

ひとつは好奇心を持つこと。もうひとつは得意分野を持つことです。私は若い人によく、穴掘り人になれ、と言います。深い穴を掘ろうとすると、自然に大きな穴になりますよね。ひとつの分野で知識を深めたら、全体的に広い視野でものを見ることができるようです。そんな社会人を目指してほしいなと思います。

—ありがとうございます。

◆どんな学生時代を送られてきたのですか？

商学部に入学したころは学生運動が盛んで、大学はいつも封鎖されていました。団体競技がしたくてフィールドホッケー部に入学しましたが、キャンパスに入れない。フェンスの壊れたスキ間から入って練習したのを覚えています。もちろん授業もできない。自分で勉強するしかなかったですね。だから手当たり次第に本を読み、多くのことを吸収しましたよ。紙のにおいや本を開いたときのちよっとした音など、それこそ五感で読書

の楽しさを知りました。大学紛争のメリットですね(笑)。いまとなつては懐かしい思い出です。

◆社会人になられて心掛けてこられたことは？

卒業後は大同生命保険に入社したのですが、もちろんイロハのイの字も知らない世界です。わからないことは先輩にどんどん聞きました。まだパソコンなどが無い時代です。手書きの資料ばかりですから、筆跡を見れば、誰が書いたかわかります。それで先輩のところに走っていったら、とことん教えてもらいました。結論だけを見がちで

◆そのための秘訣は

やっぱりアンテナを張り巡らし、たくさん引き出しを用意しておくことですね。それ



くらもち はるお 1949年、大阪生まれ。1973年大阪市立大学商学部卒業後、大同生命保険(相)に入社。営業企画部長、業務部長、常務取締役を経て2004年4月、社長就任。2010年4月、会長に就任。2015年6月から同社顧問。2016年4月から大阪市立大学非常勤理事。大阪商工会議所副会頭。
(大同生命保険(株)大阪本社にて)



美術部青桃会は、様々な
な展示会やライブアートの
野外パフォーマンスなど、
積極的に活動をしています。
学祭や夏の野外展、他大学との合同展覧
会、そして青桃会展など
数多くのイベントに参加、
運営しています。
他大学との合同展覧会
にも参加しているため、
外部とのつながりも広い
です。OBの方々とはラ
イブアートなどでの共演
や、青桃会展などでも合
同で作品の展示を行い、
様々な部の活動の支援も
していただいています。
そして近年新しくでき



美術部青桃会

部長・松田元太さん(経済学部2年生)



平成29年3月
第三回日中大学学生芸術
交流展開催！

た日中大学学生芸術交流展(通称上海展)は、日本の学生と中国の学生とで合同展覧会を開催するものです。芸術を通じて様々な文化的交流を行い、日中友好を促進していくことを目的としています。第一回は平成27年3月に上海大学で、第二回は平成28年2月に大阪の難波OCATで、そして第三回となる今回は平成29年3月に上海の高島屋で行う予定です。多くの人にこの展覧会に共感していただき、日中友好の懸け橋となればと考えており

ます。さらに今回から大阪市立大学美術部のほかに、市大書道部、留学生との交流などを主な活動とするOGM、また旧三商大の一橋大と神戸大学の参加も決まりました。学生同士が交流を通じて親睦を深めることで、日中友好の懸け橋となること、また上海展は学生主体で運営することも目的としています。この企画を通じて社会勉強をし、新たな知識・スキルを得て、将来の活動に活かしていくことをビジョンとしてがんばっています。

寄附者からの一言メッセージ

- 母校を卒業して十数年たちましたが、母校に対する想いは強くなるばかりです。
- 大阪市立大学の名前がもっと全国レベルで広がることを期待しています。
- 母校の限りなき発展を心から念願してやみません。
- 保護者として、子どもがお世話になっている大学を応援したいと思います。
- 大阪市立大学の学生が充実した学生生活を送れるよう祈念しています。
- 病院でお世話になったことに感謝して寄附させていただきました。
- 市大の研究力をもっと高めていただきたいと思えます。
- 市大の学生にもっとグローバルな人材となってもらいたい。
- 微力ながら、後輩たちの力になりたいと思ひ寄附しました。
- 娘が卒業し、親として大学への感謝の思いを込めて寄附させて頂きました。



夢基金を活用したグローバル人材の養成 Global Village の開設に協力！

Global Villageは、平成28年4月にオープンしました。これは、日本人学生と外国人留学生が自由に集い交流し学び合うことや、「他の国や地域に行ってみたい」「新しいことを学びたい」という学生達を応援するための施設です。この施設の整備には、夢基金からの資金も活用されています。グローバル感覚の醸成・海外留学意欲の向上・異文化理解などを促進し、グローバル人材の養成を目的につくられたGlobal Villageでは、主な行事として、本学に在籍する留学生が自国の文化を紹介するイベントや学長主催の料理イベント「Cooking with President」を定期的に開催しています。



「大阪市立大学夢基金海外留学奨学金」を活用した異文化交流！

大阪市立大学夢基金により、意欲・目的をもって海外留学・渡航する学生を支援し、将来、グローバル社会で活躍する人材の育成を目的に、毎年2回に分けて募集し、審査を経て学生を海外に派遣しています。

留学した学生の声

- ドイツでの半年間は、とても新鮮なもので、寮では様々な国の学生と話すことができ、とても充実した時を過ごすことができました。
- ベトナムの大学での現地企業の業務改善プロジェクトに係わり、自らの意見を英語で伝える難しさなどを実感しましたが、プレゼンが成功したときには、そうした言葉の壁を越えた達成感を味わいました。また行きたいと思います。
- 将来、海外での就職をしたいと考えています。日本の一律的な就職活動とは違い、海外の学生は、自分がしたい仕事とは何かということから始まることに刺激を受けました。

【学部・研究科別渡航実績】 平成28年10月30日現在 (人)

年度	回数	学部・研究科別										計
		商	経	法	文	理	工	医	生	創	計	
平成28年度	第1回 (5月締切)	4	17	2	5	4	1	4	0	3	40	
	第2回 (11月締切)	49	15	8	17	5	2	5	1	4	106	
平成27年度	第1回 (5月締切)	12	3	3	12	3	1	10	2	0	46	
	第2回 (11月締切)	49	15	8	17	5	2	5	1	4	106	
	合計	65	35	13	34	12	4	19	3	7	192	

短期（8日以上3か月未満） 180人、長期（3か月以上1年以内） 12人

大阪市立大学夢基金の 寄附状況について

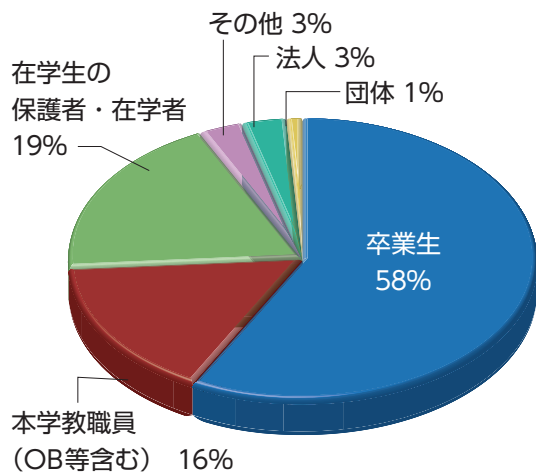
「大阪市立大学夢基金(平成26年10月発足)」の平成28年10月末現在の寄附状況は下記のとおりです。多くの皆様から大学に対してご寄附いただきましたこと、心より感謝いたします。

現在本学は、大阪にある公立大学として、荒川学長のもと、厳しい経営環境においても変革の波を乗り切るため、新たな夢として「笑顔あふれる知と健康のグローバル拠点」をスローガンに掲げ、その実現に日々邁進しているところです。

今後とも大学に対する温かなご支援とご理解をいただきますようお願いいたします。

寄附申込件数及び寄附金額(H26.10～H28.9.30現在) (円)

区分	件数	寄附金額
卒業生	382	76,420,000
本学教職員(OB等含む)	105	40,494,506
在学生の保護者・在学生	123	3,110,000
その他一般	20	178,000
法人	21	35,270,000
団体	3	94,000
合計	654	155,566,506



夢基金支出事業(H26.10～H29.3.30までに執行予定) (円)

用途	金額
グローバル人材の育成関係 ・海外留学・渡航支援費用	30,000,000
・グローバルビレッジ開設費用	2,000,000
・海外研修必須化試行事業	3,000,000
冠付き事業 ・楊大鵬氏(医学部生のための奨学金)	20,000,000
・阪口春男氏(法学部の教育・研究の発展のために)	30,000,000
合計	85,000,000

寄附目的(使途)を選択式に

●寄附者の意向を反映した寄附金活動を展開していきます!

これまで、本学へご寄附いただく皆様には、その寄附目的(使途)を選択いただいておりますが、平成29年1月からの寄附申込みにおいては、その目的を選択いただけるようになりました。

これを機に、大阪市立大学のサポーターとして、なお一層のご支援をいただきますようよろしくお願いいたします!

①「大学の発展」のために

大学の基盤となる教育・研究に係る整備、充実のための事業費(大学の基盤事業充実費)

②「課外活動施設」の充実のために

学生生活における課外活動を充実させるために、体育会系及び文化系クラブの部室や共有のミーティングルームなどの施設整備のための事業費

③「全天候型グラウンド」の整備のために

スポーツ環境の充実のために、公立大学初の全天候型グラウンドの整備を目指すための事業費

④「グローバル人材の養成」のために

国際社会で活躍する人材を養成するために、学生の海外留学・渡航支援や海外からの留学生との交流等のための事業費

⑤「社会連携」のために

社会との緻密なネットワークづくりのために、市民や学生が参加できる講演会などのイベントや、学生が地域と連携したボランティア活動等を行うための事業費

⑥「医療・保健推進」のために

医学の発展・医療環境の整備および保健事業の充実のための事業費



編集後記



東京支部総会の乾杯の挨拶のときに、本学のOBであり著名な経済人である坂根コマツ相談役が一言、「大学にとって商品とは何で、お客さんは誰かといえば、商品とは学生であり、お客さんは社会そのものだと考えている」と話されました。高等教育機関として、いかに有為な人材を育て社会に送り出していくのか。それはまさに、都市・大阪を大学の教育・研究の場として捉え実学を旨としてきた本学であればなお一層重く、またそれこそ大阪市立大学の真骨頂であるように思います。

大阪市立大学夢基金情報誌

夢をつなぐ

平成29年1月発行 創刊号

編集・発行

大阪市立大学サポーター支援室
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

TEL：06-6605-3607

FAX：06-6605-3416

<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja>